

# 第45回 ペトロフピアノコンサート

クララ・シューマンが聴いたモーツァルト  
～モーツァルトイヤーを祝して～

もしクララ・シューマンがモーツァルトを弾いたら…



ピアノ: 諸戸詩乃

2026年5月29日金曜日  
京都芸術センター2F 講堂

開場 18:30 開演 19:00

チケット 前売り券 1500円 当日券 2000円

チケット: 京都芸術センター窓口販売 10:00~18:00

お問い合わせ: 明倫ペトロフの会・長谷川まで

FAX: 075-221-4406. Mail: bhhmb715@outlook.jp

\* 未就学児童の入場はご遠慮ください

主催: 明倫ペトロフの会

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) 地域との連携事業

## プログラム

モーツァルト ピアノソナタ ハ長調 K.545

ファンタジー ニ短調 K.397

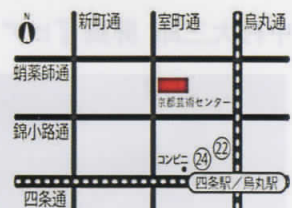
「トルコ行進曲」

ブラームス 3つの間奏曲 Op.117

クララ・シューマン 3つのロマンス Op.21より第1曲

ベートーベン ピアノソナタ第8番「悲愴」より第2楽章

他



京都芸術センター  
〒604-8156  
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2  
TEL 075-213-1000 FAX 075-213-1004  
<http://www.kac.or.jp/>

地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」  
22番・24番出口より徒歩5分。  
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

## 諸戸詩乃 プロフィール

10歳のときにウィーンへ移住。15歳でウィーン国立音大ピアノ演奏科に飛び級入学。エリザベート・ドヴォラック=ヴァイスハール、ハンス・ライグラフに師事。フィリップ・アントルモンにも教えを受けた。2018年3月同大学院を卒業。

ウィーンをはじめ、欧米各地で演奏し好評を博す。現在、19世紀時代考証演奏法の権威であるクライヴ・ブラウン博士と、作曲家が生きていた当時の演奏法と楽器で演奏を再現するコンサート企画にも取り組んでいる。日本においては、2005年、NHKのテレビ番組「スーパーピアノレッスン」にシリーズ最年少の生徒役で出演し、そのモーツァルト演奏は講師のアントルモンから「きわめて洗練されたモーツァルト」との評価を受けた。紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、愛知芸術劇場コンサートホール、ムジーク・ブルネン等に出演。カメラータ・トウキョウから3枚のアルバム(3rdアルバムはレコード芸術で準特選盤受賞)をリリースしている。

ホームページ：[www.shinomoroto.com](http://www.shinomoroto.com)



## 京都芸術センターと明倫小学校

明倫小学校(下京三番組小学校)は、日本で誕生した初めての学区制小学校「番組小学校」のひとつとして1869(明治2)年に開校し、1993年に124年の歴史をもって閉校しました。現在に残るスペイン風の校舎は、1931(昭和6)年の大改築によるもので、当時は東洋一の折衷建築と評判になりました。この校舎をほぼそのままに残して、2000年にオープンした京都芸術センターでは、展覧会や舞台公演、ワークショップ等とおして、人々が学び、創造し、発見する場として今も開かれています。黄色い瓦に緑青の樋、丸窓や木の廊下…趣ある校舎をぜひたずねてみてください。



## ペトロフ社のピアノ/明倫ペトロフの会



京都芸術センターにあるペトロフ社のピアノは、大正時代に明倫小学校創立50周年の記念に明倫学区の有志により寄贈されたピアノです。その当時、オーストリア宮廷で重用された最高級のピアノでした。小学校の講堂に置かれ、様々な場面でその音色をこどもたちに聞かせていましたが、戦争や小学校の統廃合など、長年の間に傷みが進み京都芸術センターとなった校舎に保管されたままになっていました。このピアノの存在を知る方々のお声がけによって、忘れられていた響きと容姿をもう一度蘇らせようと、京都芸術センターの協力のもと明倫ペトロフの会が誕生しました。

ピアノ修復のために2005年から15回のコンサートを開催し、その収益でピアノを元の姿に蘇らせ、2008年11月15日に修復完成のコンサートを開きました。その後も年間2~3回のコンサートを開催し、その音色を楽しんでいただいています。

## 中村大三郎 屏風『ピアノ』 レプリカ展示について



このレプリカは2023年10月6日に多くの方の支援を受け、80%のサイズのパネル屏風として完成披露されたものです。この作品は明倫学区に住んでいた日本画家・中村大三郎が、明倫小学校のピアノと婚約者を描いたもので、帝展で入賞し、現在は京都市美術館初の収蔵作品のひとつですが、常設展示出来ないため、なかなか見ることが出来ません。大正期に描かれた屏風『ピアノ』のモデルとなった元明倫小学校のペトロフピアノとこの屏風は明倫小学校の歴史と文化を伝える歴史遺産として、ペトロフピアノコンサートではレプリカを展示しています。